

冬の寒さで心筋梗塞のリスク上昇

ある特定の天候が、心筋梗塞の発症率に関係するのかを把握しておくことは、その予防に役立つ。本研究では、天候と心筋梗塞の発症との関連について検討した。

1998～2013年に心筋梗塞を発症した274,029人のスウェーデン人（平均年齢71.7歳）を対象とし、発症日の天候を調べ、心筋梗塞のリスクとの関連について解析を行った。その結果、低温、気圧の低さ、冷たい風、日照時間の短さが心筋梗塞のリスク上昇と関連していた。なかでも気温との関連がとくに強く、最低気温が7.4℃上昇するごとに心筋梗塞リスクは2.8%低減した（未調整発症率0.972; $P < 0.001$ ）。

したがって、冬の冷たい風や低温により心筋梗塞の発症リスクが上昇する可能性があることが示唆された。

出典：Journal of American Medical Association. Cardiology. Published online Oct 24, 2018. doi: 10.1001/jamacardio. 2018. 3466